

# 足音

九月二十二日  
石巻中一年  
学年通信No.二十七  
編集・発行  
鈴木 孝明

## いざ新人戦へ

今週末に行われる市内新人戦。

去年、一昨年と、この大会は開かれることはありませんでした。理由は言わずもがな、新型コロナウイルスの感染拡大によるものです。

その市内新人戦が、今週末、ようやく開催されます。

激励会では、三年生からのエール、先代のキャプテンの言葉がありました。その先輩方は、新人戦ができなかった代の人たちです。だからこそ、この大会を迎



える後輩たちへの思いもあったことでしょう。

「新人」戦、という名前の通り、新チームのスタートとも言えるこの大会。スタートであるとともに、先輩方が脈々と受け継いできたバトンを確かに受け取ったことを証明する機会でも

あります。これまで見てきた先輩方の背中。その手から渡されたバトン、その思い。どの部活、どのチームも、しっかりと思いを握りしめ、立派に大会にのぞむことを期待しています。

この大会に一年生は、選手として参加する人もいれば、応援や試合の手伝いをするという人もいることでしょう。

選手として参加する人。一年生だからと言って決して遠慮はいりません。プレー中は、自分自身がその会場の主役です。「自分が主役だ」という熱い心と、「チームで勝つ」という冷静な頭で、ベストを尽くしてきてください。

応援や手伝いに回るといふ人たち。石巻という学校が、そのチームがどんな集団であるか、その印象は、あなたた



ちで決まります。応援は、声が禁じられている場面もあることでしょう。だからこそ、何ができるかを考えるといい。試合の手伝いも含め、「自分が石巻の代表だ」という気持ちでもって、全ての行動をとってきてください。いつ、何を、どのようにふるまうべきかは、その気持ちが教えてくれます。

この大会を終え、個人として、チームとして一回り成長してくることを期待しています。

最後に、私からのエールとして、某有名漫画の、某有名監督が放った名言を紹介しておきます。

がんばってきてください。



## ☆ ニュース

来週からこの一年生に、教育実習の先生が来ます。楽しみですね。一年生の先生たちも、もちろん若さにあふれています。さらに若い先生とともに、充実の日々にしていきましょう。